

高島公民館だより

2025年 1月号 2024.12.24 (文責：高木)

高島公民館
(アイリッシュパーク内)

〒520-1121

高島市勝野670

TEL 36-0219

FAX 36-1909

t-kominkan@city.takashima.lg.jp

明けましておめでとうございます。新年にあたり、一言ご挨拶申し上げます。

昨夏から秋にかけての異常な高温が続いただけに、最近の寒さはより身に沁みます。また、メディアに登場する気象予報士の話を聞いていると、日本海の水温が高いため、蒸発量が多く、寒気が入ってくると大雪になる可能性があるそうです。今後は、降雪の対策も十分にいただけたらと感じています。

1月26日(日)から2月2日(日)までガリバー書き初め展(別紙地域回覧参照)を開催します。多数のご応募をお待ちしております。

高島地域人権学習会 「^{ひとごと}他人事から^{じぶんごと}自分事へ」 12月14日

人権教育推進協議会高島支部では、このたび、「他人事から自分事へ」と題して人権学習会を開催しました。小学生7名・中学生1名・地域の大人の方19名、計27名の皆さまにご参加いただきました。自分の考えを伝え、他者の考えを尊重することはなかなか難しいものです。いろいろな場面で、どうしても他人事として考えてしまい、自分の問題として捉えることができません。今回は、講師に杉本正紹(まさつぐ)氏(公益財団法人滋賀県人権センター)を迎えて、小・中学生と地域の大人と一緒に、ワークショップ(参加型学習)を通して、人権について学びを深めることができました。



人権教育推進協議会高島支部
山本支部長 あいさつ



講師：杉本正紹 氏



アイスブレイキング(トーキングゲーム)

めくったカードに書いてあるお題について自分の思いを述べます。
「今、会いたい人」等自分の考えを整理して述べることで、自己開示につながります。日本人は世界の人に比べて自分の意思を表すことが苦手だと思われます。



4つのコーナー(移動中)

質問に対して「そう思う」「どちらかというと思う」「そう思わない」「どちらかというと思う」「そう思わない」の四つのコーナーに分かれます。



自分がどうしてその立場をとったのか、意見(考え)を述べています。



貿易ゲーム

示されたものの作成を通して世界それぞれの地域で作ったものや作成に関わる道具を売り買いし、世界銀行でお金に換算して、競うゲームです。



作成した商品を世界銀行で通貨に換算しています。

【参加者の感想は裏面に掲載】

この貿易ゲームを通して、南北問題(先進国と開発途上国との経済格差問題)や、南南問題(資源をもっていたり、工業化したりして経済成長した開発途上国と経済基盤が弱い開発途上国との経済格差問題)が明らかになり、世界の現状を知る機会となりました。

今回の人権学習会で講師の杉本氏から、物事を正しく見るために3つの目で見ること【①俯瞰(ふかん)②弱者視点③潮の流れを読むこと】の大切さを指導され、「人権推進のためにあなたがこの地域でできることは何ですか?」と問われました。

○子どもたち（児童・生徒）

- ・最初にゲームをしたので、大人の人と話しやすくなった。
- ・話を聞くだけでなく、大人と子どもが一緒になって話すので、たくさんの人と活動ができて楽しかった。自分たちで動いて4つの立場をあらわす「4つのコーナー」が印象に残った。

○大人の方

- ・ワークを通して「人権」というものについてやさしい気持ちで視点を変えながら考える大切さを感じた。特にトークンゲームは周りの人それぞれの内面を知り、気づきが多かったので、様々な年代の人といっしょに取り組んでみたいと思った。
- ・息子と参加した。最初は不安そうだったが、ゲーム感覚のワークショップが進むにつれリラックスして参加できていた。私自身いろいろ考え、はっと感じる内容もあり、大変良い機会だった。
- ・南北問題や南南問題について自然と学べるワークショップは素晴らしいアイデアだと思った。
- ・多くの方が参加され、よかった。特に小中学生の参加がうれしい。多様なワークショップで飽きることなく学べた。
- ・みんなが思い思いのことを言えたのはとてもよかった。

子どもにどうかかわりあうか講座(高島小 PTA・高島公民館共催)

「命の大切さ・心と体の発達」 高島小4年生児童・保護者の参加 12月13日

この講座は「家庭教育はすべての教育の原点」という認識のもと、高島公民館と各学校・園とが共催して実施するものです。専門家から様々な情報を得て、不安を軽減したり、子どもとのかかわり方や家庭教育の在り方について考えたりする機会となりました。今回は助産師（3名）から高島中学校格技室でプレゼンや演技を通してわかりやすい講話があり、「思春期の性について親子で話し合える機会をもらってよかった」等の声を聞くことができました。

助産師から学ぶ子どもたちと保護者→



高島公民館 1月の予定表

1	水	休館日（図書室休み） 元旦走ろう会
2	木	休館日（図書室休み）
3	金	休館日（図書室休み）
4	土	
5	日	
6	月	休館日（図書室休み）
7	火	（図書室休み）
8	水	
9	木	
10	金	
11	土	
12	日	
13	月	成人の日
14	火	休館日（図書室休み）
15	水	（図書室休み）
16	木	
17	金	
18	土	おはなし会10:30~11:00（和室）
19	日	ヤングピアニストコンサート （ガリバーホール）
20	月	休館日（図書室休み）
21	火	（図書室休み） 子ども書道（硬筆）教室⑭
22	水	
23	木	
24	金	
25	土	
26	日	子どもお菓子作り教室 【高島青少年育成学区民会議主催】 ガリバー書き初め展（～2/2）
27	月	休館日（図書室休み）
28	火	（図書室休み） 子ども書道（毛筆）教室⑭
29	水	
30	木	
31	金	

【高島図書室から】

新年あけましておめでとうございます。本年もどうぞよろしくお願いいたします。

新しい年もいろんな本を紹介していきます。気になる本がありましたら、ぜひ図書室へ！

年の始めに今回は、こちらの2冊を紹介します。



『私のまんまで生きてきた。』 平野 レミ／著 ポプラ社

いまやテレビではすっかりおなじみの平野レミさん。レミさんの気さくで朗らか、自然体でマイペースな在り方に、元気を分けてもらう方も多いのではないのでしょうか。

この本には、そんなレミさんの「自分のまんま」で気持ちよく生きるための100の言葉が収められています。「私は私、ほかの人はほかの人」「お料理を楽しむために手抜きをする」「とにかくがんばらない」等々。レミさんの口調そのままの文章は、まるで目の前でレミさんが話しているようです。

どれも1ページから2ページ程度と短く、すきま時間に読むのにもぴったり。どこからでも読める形なので、その日の気分で開いたページの言葉を読む、なんて読み方でもいいですね。

新しい年の始め、レミさんの言葉からパワーをもらってみませんか。

『あなたに会える杜のごはん屋』 篠 友子／著 双葉社

その店は人里離れた標高千メートルほどの森の中にひっそりと建っていた。店の主はかつて、ミシュラン三ツ星を獲得したこともあるイタリアンシェフ。メディアにも登場するほどの著名人だったが、ある日を境に行方不明となっていた人物だ。その店の看板には、こんな一文が書かれている。

——あなたに会える、ごはん屋——

こんな感じで始まるこちらの本は、一日一名限定で亡くなった人との思い出の料理を提供するごはん屋さんを舞台にした連作小説です。

和解できないまま父を亡くした娘の思い出の料理『ニラ豚』、娘との突然の別れを余儀なくされたシングルマザーの思い出の料理『煮込まないカレー』など。しかも、この店で出会えるのは思い出の料理だけではなく、それは何だと思いませんか？ ぜひ読んで確かめてみてください。

貸出中の資料はご予約できます。お気軽におたずねください。